

<p>団体名</p> <p>津山《風と光と心の劇場》実行委員会</p> <p style="text-align: right;">代表者 花谷 周治 記載者 菅原 恵</p>
<p>所在地(市区町村名のみ)</p> <p>岡山県津山市新野東</p>
<p>活動目的</p> <p>文化のまちづくり(文化で人づくり・まちづくり)一人間性豊かで活力に満ちた連帯感あふれる地域社会の形成</p>
<p>団体の紹介</p> <p>平成10年4月、勝北町民の生涯学習の拠点である《ハートピア勝北》のオープンを機に平成11年度「文化のまちづくり事業」に取り組むため「新しい風と未来の光とあたたかい心の調和」をテーマに、勝北《風と光と心の劇場》実行委員会を設置しました。平成17年(2005年)2月28日津山市と合併し、津山《風と光と心の劇場》実行委員会と改称しました。</p>
<p>助成を受けての活動内容</p> <p>1999年4月に、当実行委員会を立ち上げ、ミュージカル「黒媛物語」、子どもミュージカル ジャパニーズ「オズの魔法使い」、ミュージカル「銀河鉄道の夜」(津山編)、子どもミュージカル「ヘンゼルとグレーテル」に続く、第5のミュージカル「風の野っ原」の完成本公演を上演いたしました。</p> <p>「風の野っ原」は、『風の里勝北』を題材にした創作ミュージカルです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原作 山田美那子(津山市在住) ・作曲 井上良博 (群馬県在住) ・台本 津山《風と光と心の劇場》実行委員会 ・総監督・指揮者 鈴木英子 ・演出・ダンス指導 山岡典子 ・音楽指導(オーケストラ) 藤本晶恵 <p>本年度本公演として、2時間上演いたしました。</p>
<p>助成を受けての成果</p> <p>平成11年に、津山《風と光と心の劇場》実行委員会を立ち上げてから、15年目を迎えようとしています。</p> <p>ミュージカル「風の野っ原」は、平成23年制作発表会・平成24年プレ公演・平成25年本公演をファイナル公演とさせていただきます。</p> <p>毎回のことながら、新聞等マスコミにも大きく取り上げていただき、各方面からの好評を得ています。本事業におけるコンセプト「楽しむ」「感動する」「創造する」のもと、年齢層・職業等を越えて住民の多数が創造の世界へ参加することができました。市民ミュージカルと言えば、舞台へ立つ人が主導で行われがちですが、この事業では、裏方(スタッフ)の育成からスタートし、地域住民の財産である文化センターの有効利用として、住民一人ひとりが照明・音響・舞台美術・衣裳等の講習を受けて担当しています。従ってこの事業は、一個人の趣味ではなくミュージカルを通して住民総参加で一つのものを創りあげる充実感と達成感・感動を共有し、住民の連帯感の元果敢にチャレンジしていきたいと考えています。</p> <p>また、子どもたちが多く参加しています。子どもたちは宝石です。磨けば磨くほど輝きます。子どもたちはミュージカルを通してどんどん磨きを増し、友達と協力していいものを創ろうと意欲満々、自信も湧いてきました。また、周囲の大人たちの尽力で思いやりや礼儀、そして感謝の心も身につけて大きく成長してきました。まさしく当実行委員会が目指す『人づくり』の成果です。今、大切なのは「1位」「2位」ではなく『人の心』だと考えています。</p>
<p>今後の活動の課題点</p> <p>「文化のまちづくり事業」は、「人間性豊かで活力に満ちた連帯感あふれる地域社会」の形成に大きく貢献してきました。本事業を定着させ、その成果を引き続き活かしていくためには、本事業に対する住民の理解と協力が何よりも大切となります。今後も、本事業を通して地域住民の参加を得て、信頼関係に立ったより深い絆を醸成し、その結果を文化のまちづくりに活かしていきたいと考えています。また、後継者の養成にも努めたいと考えています。</p>
<p>問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)</p> <p>info@kazehikarikokoro.jp メールアドレス</p> <p>http://kazehikarikokoro.jp/ ホームページ</p>

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。

A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)

写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。